

発行所
カトリック福江教会
広報委員会
五島市末広町3-6
☎ 0959(72)3957
●ホームページ●
<http://fukuechurch.jimdo.com>

お世話になりました

主任司祭 下口 勲

ことを考えると、主に委ねられた新天地は司祭人生を総括する教会になるのではないかと思っています。しかし探究心を失わず、新たなチャレンジ精神をもって司牧宣教する覚悟です。神様と信徒への奉仕職を誠実に果たすことができますようにお祈りを願います。

このたび教区長より任命書を受け、長崎市の大浦小教区へ転任することになりました。福江小教区での在任期間の六年間は、神様のお恵みとシスターや信徒のみなさんのご支援のおかげで元気で働くことができました。心より感謝申し上げます。今年六月末、古希(七〇歳)となる



在任の司牧宣教を振り返ってみますと、最初に記憶によぎるのは信徒のみなさんのご協力とご理解を得て、信徒会館、司祭館、教会の改修工事など小教区創設百周年事業の大任を無事に果たすことができましたことです。個人的には編集委員の惜しみない協力を得て、下五島地区、浜脇小教区、福江小教区沿革史を編集できたことです。司牧全体においては

協働司祭、助任司祭、評議員、各委員会の委員長と委員、女性部、シスターのみなさんに、小・中学校の子供の要理教育では、福江・聖家族修道院のカテキスタのシスター方にお世話になり、深く感謝申し上げます。

もちろん、毎日、美味しい食事を準備してくれた川上シスターのおもてなしにも心から感謝いたします。

編集の仕事を終えた6年目から、福江小教区でも井持浦小教区でも浜脇小教区でも高齢者の家庭を訪問し、交わりのひとときを持つことができなしい思い出です。昼間と夕方には曲坂方面まで、夜間には中央公園まで散歩したことや信徒の漁船で時々鯛やクロなど船釣りを楽しんだことも思い出となりました。

福江小教区でも、世俗化、過疎化、少子高齢化がすすむ社会状況のなかで、交わり、宣教する共同体を実現するためには乗り越えなければならぬ多くの課題が存在します。しかし聖霊の働きに信頼しながら、新しい主任司祭を中心にして、あらゆる難題を乗り越え、さすが下五島中心の小教区だと言われるくらい成長しますよう心からお祈り申し上げます。長崎にお出かけの折にはぜひ立ち

寄ってください。その日を楽しみに待っています。

* * * * *

葛島神父様 休養へ



福江小教区協働司祭の葛島輝義神父様は、四月より休養に入ることになりました。

平成二四年度より、福江教会にて三年間働かれた葛島神父様。体調の優れない中、浜脇教会での司牧を初め特に昨年度は司祭二名体制となり子ども達の稽古など、御苦労が絶えなかつたと思います。

ミサの初めにその日の典礼のテーマを毎回丁寧に説明され、信徒がミサに臨む心構えを持つことができるよう促したり、たとえ話を効果的に入れた説教がしばらく聞けなくなるのは残念なことです。

葛島神父様は福江の町に留まって休養期間を過ごされるとの事です。元気に復帰されることを心よりお待ちしています。

信徒発見一五〇周年記念ミサ



●記念連続ミサの様子

三月一七日(火)長崎市の大浦天主堂において「日本の信徒発見一五〇周年記念」一日連続ミサが行われ、福江教会からも約三〇名の参加がありました。



●信徒発見の MARIA 像

当日は事前に入場制限が設けられていましたが、ミサを待つ信徒や申し込みしていない人で入場枠に入りたい人が長い列を作るなど、天主堂は終日大変な賑わいとなりました。

これは一五〇年前の三月一七日、それまで二五〇年間密かに信仰を守り伝えていた信徒のうち一四〇一五名が大浦天主堂を訪れ、フランス人宣教師プティジャン神父に「ワレラノムネ、アナタノムネトオナジ」「サンタマリアのご像はどこ?」と打ち明け、信仰表明をする事で現在に至る事を記念して行われたもの。福江教会は二回目のミサに参加しました。



小島新司祭初ミサ



三月二十二日(日)福江教会において小島新司祭の初ミサが行われた。

三月一日に浦上教会において、高見大司教様の司式で、沢山の信徒が参加する中で、司祭叙階の恵みを受けた。

小島新司祭は、緊張でどうしようもなかったと式の時の様子を語っていましたが、大分の浜口末男司教を



はじめ百余名の神父様の按手を受け司祭団に迎えられた。式の終わりに高見大司教様の二名もの司祭叙階の恵みを頂いたことへの感極まった言葉と、新司祭が両親に司祭として最初の祝福をした場面は、大変感動した場面であった。

小島新司祭の初ミサは、初々しさを感じられる司式ではあったが、意欲にあふれた力強い言葉が印象的であった。小島新司祭の最初の任地が、福江教会となったことは、私達、福江教会信徒にとって若い力を生かしていただき活躍していただけること期待し、うれしいことである。

共に祈りましょう。



峯 勇太郎さん 祝 初誓願

福江教会出身でコンベンツアル聖フランシスコ修道会の峯勇太郎さんが、三月七日に長崎市の本河内教会にて初誓願をたて、司祭職への一歩を踏み出しました。翌日の八日には福江教会のミサに参列



し、その際下口神父様より初誓願について紹介がありました。勇太郎さんより「みなさんのお祈りのおかげで無事初誓願を立てることが出来ました。これからも頑張っていきたいと思います。」と挨拶がありました。勇太郎さんは、幼いころに父親からコルベ神父の話を聞き感動した

り、保育園の頃から神父様のミサの時の動きが「カッコいい」と感じ、憧れを持って見ていたそうです。

初々しい修道服姿が眩しい勇太郎さん、これから様々な苦勞もあるでしょうが体に気をつけて精進して下さい。福江教会信徒一同これからの活躍をお祈りしています。

婦人会から女性部へ

これまでの教区婦人会は女性部へと名称を変え、新しい組織となりました。

①会費…会費は廃止となります。よって独自の会計を持たず、小教区評議会の予算で評議会の下で活動することとなります。

②会員…福江小教区所属の満18歳以上の女性で満65歳までを正会員、66歳からを準会員とします。

③神学生養成援助献金につきましては、正会員のみ年間一〇〇〇円とします。

④いのちの基金は一月に収集します。その他、詳しくは後日配布される女性部会則をご覧ください。

女性部になるにあたり、会員名簿を作成します。各地区の経済問題評議員さんを中心に各家庭にまわって聞き取り等を行います。その際は御協力をお願いします。

神学生を励ます会

三月二十九日(日)枝の主日のミサ後、神学生を励ます会として盛大にバーベキューが行われた。高校生の二人の神学生が参加し、松本竜君は「勉強を今以上に頑張って順位を上げたい。」と抱負を述べた。吉原祐則君は「学生副会長をしていて、学校生活は楽しい。侍者の子達が体験入学を経て神学校に来てくれると嬉しい。」と挨拶した。

葛島神父様は、「このようなふれあいがあるだけでも難しくなってきた。でも、召命委員会の皆様が教会を盛り上げてくれる気持ち、子ども達を大切に思う心、期待、希望が形に現れている。このことにまず感謝したい。そして神学生が新たに出るようになりたい。不安もあるかもしれませんが、教会が続いて行くためには、どうしても司祭、シスターが必要。その道に進むきっかけをどこかで掴んで貰いたい。その



●写真中央が松本君、左端が吉原君

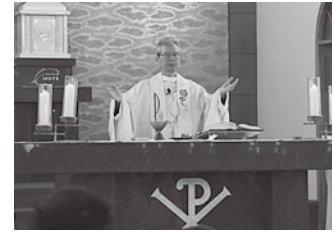


きつかけの一つがこのような場であると思う。教会学校でずっと関わってきたが、素晴らしい子ども達がいっぱいいるので勇気を出してお父さんお母さんに背中を押してもらってその道を歩んでいってほしいと思う。そうならばお父さんお母さんが全面的に協力をしてくれればと思う。」と話された。

バーベキューは終始和やかな雰囲気、神学生達と楽しい時間を過ごすことができた。

復活の主日ミサ

四月五日(日)
復活の主日ミサ
が行われ、御堂
に入りきらない
程の信徒が参列
し、皆で盛大に
主の復活を喜び
祝った。



この日は下口神父様の福江教会で
行なう最後の主日ミサとなり、ミサ
の最後に感謝式が行われた。



●ミサ後には女性部より御復活を祝う卵が信徒に配られた。



教会学校 お別れ遠足

木曜日
の教会学校の
時から「土
曜日、雨
だつてえ」
とお天気を
心配してい
た子どもた
ち。そんな
子どもたち



のお祈りが届いたのでしょう。当日
7日(土)には良いお天気をいた
だけ、中央公園まで歩いて遠足に
出かけました。思いおもいに遊具



お知らせ

◆信徒会館使用記録簿について

会議等で信徒会館を利用された
方は、信徒会館使用記録簿への記
入をお願いします。記録簿は、信
徒会館入ってすぐのイエズス様の
御像の所に置いてあります。

◆福祉委員会より

以前もお伝えしましたが、御ミ
サに預かる信徒の方の送迎ボラ
ンティアがまだまだ不足してい
ます。毎月第3日曜日の二番ミサ

について送迎を行っています。車
に便乗させてもらえる方は福
祉委員会の岩下さんへご連絡く
ださい。

◆広報委員会より

平成27年度の各地区の班長が
決まりましたら、班長名を経済問
題評議員さんを通じて広報委員
へお知らせください。その際、各
班の世帯数を併せてお知らせく
ださい。広報紙等の配布時に必要
となりますので、よろしく願ひ
します。

編集後記

復活節の喜びの中、こころ
一九九号を発行しました。今回
は小教区内外でいろいろな出来
事があり、紙面をまとめるのに
少し苦労しました。

この度、両司祭が福江教会を
離れる事となりました。本当に
お世話になりました。寂しい気
持ちもありますが、神父様方の
更なるご活躍を願ってお祈りし
たいと思います。

次号で広報紙「こころ」も
二〇〇号を迎えます。記念号に
相応しい充実した内容を目指し
て頑張ってお参りたいと思いま
す。よろしくお参りします。(H)

少年化と言われる中、福江教会は
まだまだ子どもたちに恵まれていま
す。また、保護者の皆さんのご協力
によって教会学校の出席率も高いも
のです。
神さまの愛を知ること、愛す
ることの意味を知り、同時に人を
大切にすることなど、人間として
心豊かに成長できるようなたくさん
の事を学び合っていきたいと思ひ
ます。
保護者の皆様も、ごミサはもちろ
ん、教会や教会学校の行事に参加し、
神さまからのお恵みを分かち合えた
らいいなと思ひます。